



◇ 2019年：新しい1年が始まりました ◇

1月7日（月）に始業式を行い、3学期がスタートしました。始業式当日は、式の前に避難訓練を実施しました。これまでに、不意の地震や不審者の校地侵入などを想定して避難方法の確認を行ってきましたが、今回は火災発生時の動きについての訓練でした。日頃から、不測の事態が発生した際にしっかりと集団で安全に行動し、お互いの生命を守り合おうとする意識をみなさん一人ひとりに持ってほしいと思います。

さて、3学期が始まり、みなさんは冬休み明けの学校生活にもすっかり慣れてきたことでしょう。年頭に抱いた自身の今年の努力事項は実行できていますか。とりわけ学習面では、本年度の総まとめの学期になりますから、「備えよ常に！」の精神で、早めに学習に取りかかるようにしましょう。そのための手立てのひとつとして、学校の取組で大切にしている「考動タイム」を今後も有効活用してください。

< 「考動タイム」を活用した家庭学習 >

「考動タイム」とは、毎日の学習内容をふりかえるとともに、家庭での学習へと接続する取組であり、年度当初から、帰りの会の前や翌日の朝の会の前にその時間を設定してきました。帰りの会前の5分間で、一日の学習内容を確認しながら家庭学習の計画を立て、家庭で実行した後、翌日の朝の会前の10分間で、自主学習ノートなどにまとめた家庭学習の内容をもとに一日の学習のめあてをもつというサイクルですね。

● 帰りの会前の考動タイム

今日の授業内容を振り返りながら家庭学習の計画を立てる。



家庭学習の計画を立てやすいように、学習のしおりも活用する。

○ 予習

- ・ 次の時間に学習する語句や英単語調べ
- ・ 教科書を読み、わからないことをチェック

○ 復習

- ・ 授業の振り返りや重要語句の確実な習得
- ・ 授業で学んだ問題の再挑戦
- ・ 興味を持ったことをより深く学習

● 朝の会前の考動タイム

自主学習ノートを確認する等これまでの内容を振り返り今日一日の学習のめあてをもつ。



めあてをしっかりとって、1日の過ごし方について考え、準備する。

毎日、このサイクルを大切に考えて実行していくことで、家庭学習の内容を学校で考える時間が確保でき、また、帰宅後も何をすることがわかっているので、スムーズに家庭学習に取り組むことができます。そして、次の日には、めあてをもって学校での学習に臨むことができます。